

令和3年度前期学校評価アンケート（保護者用）での、学校への意見や要望についての回答

多くのご意見・ご要望等をいただきありがとうございます。いただいたご意見等については、一部を要約して掲載しているものもあります。また、個別にお答えすべきと判断したご意見や、プライベートに関すること等の理由により、一部を省略または掲載を差し控えたご意見等もあります。ご了解いただくとともに、ご不明なことがありましたら学校へご連絡ください。

学習や進路に関して

- 補習や、学習サポートについての取り組みを強化してほしいです。
- 子どもに基礎学力がついていないためか、実力テストに反映されてこないのが、学習方法を受験にむけて伝えてほしい。
- 進路に関して、子どものレベルに合った高校をすすめてほしい。

▲補習については、長期休暇や3年生では9月以降放課後に実施しています。また、放課後に学習スペース等を利用して個別に学習している生徒もいます。しかし、部活動や生徒会活動等が優先される状況も多いため、時間の有効活用が今後も課題になると思います。▲学習サポートについては、本年度は加配が認められ数学では複数の教師が授業中サポートしています（生徒・保護者の希望により別室でのサポートも可能です）。しかし、九度山小学校のような通級教室は設置されていないので、希望する場合は設置している学校へ通級することになります。▲進路については、生徒・保護者の希望のもと指導しています。希望校合格のための学習についても、アドバイスをしていますが、お子様の様子で気になることがあればいつでも担任にご相談いただければと思います。

生徒指導に関連して

- （前略）子どもたちはよく見ているので、少し気をつけてほしいと思うところも、話を聞いているとあります。先生の言った通りにして怒られたり、先生が間違っても謝らなったりすることもあるみたいです。先生によりますが、平等に子どもたちに接してほしいと思うこともあります。前回は書きましたが、少しの優しさ（甘やかすではなく）や、子どもたちを見る（監視するではなく）事ができていない先生が多いのに残念です。これからも子どもたちが安心して行ける学校作りよろしく願います。
- 先生への相談はなかなかできないと思います。内容にもよりますが、相談したことで悪化するかもしれないと感じたら、本当に相談したくてもできないと思います。できれば先生に声をかけやすく、相談しやすい環境だと子どもたちも話しやすいのではと思います。

▲本校の生徒指導の重点として、「絶えず生徒との心のふれあいを通して、教師と生徒の温かい人間関係を深めることによって一人ひとりの生徒の悩みや不安等を見つめながら、生徒が自らの力でそれを解決するように援助する」と明記し、そのような指導ができるよう努力しています。しかし、今回も生徒や保護者の皆様が上述のように感じられているということは、まだまだ指導方法の見直しが必要だと考えます。そのため、可能であればご指摘いただいたことについて、本来は教師自身が気づくことではありますが、自分では意図したことと違うように受け止められているような事もあるので、直接または間接的にでも結構です。教員全体で自省・自戒・改善のため、具体的（どんな場面で教師がどのような言動をし、生徒はどう感じた等）に伝えていただければありがたいです。

部活動について

- 難しいですが部活動の選択肢（水泳・陸上・美術等）があると子供たちの世界が広がると思います。
- 土日の部活、体育館の使用はどのような風に決めているのですか？部によって土曜日ばかりだったり、日曜日ばかりだったりしているように思います。
- 顧問の土日の勤務や報酬について

▲部活動の種目や数については、これまでの論議や、生徒数・教職員数等も勘案し、運動部活動は当分の間変更しません。また、文化系の部活動については、現在語学部と華道部がありますが、指導者の関係で現状ではこれ以上増やすことは困難です。▲土日の体育館の使用については、月毎（長期休業を除く）に、バスケ男子・バスケ女子・卓球女子が午前2チーム・午後1チームとなるよう平等に割り当てられています（当該チームの話し合いで変更されることもあります）。通常練習では土曜日に練習することが多いのですが、午前中に2チームが重なるため、午前に体育館の全面を使用したい場合、日曜日に練習や練習試合をすることもあります。▲平日の勤務時間を超えての勤務については、超勤手当はなく教職調整額（給料の4%）が支給されています。休日の部活動の指導については、3時間を超える場合は特殊業務手当2700円が支給されます。▲部活動は生徒の生活で大きなウェイトを占めるものであり、学校でも大切な教育活動の一つと認識しています。ただし、保護者・生徒・教員にも様々な考えがあることも理解しています。なお、参考として昨年9月に文科省から部活動について次のようなガイドラインが出ています。～「部活動」に関しては、生徒にとって望ましい部活動の環境の構築と学校の働き方改革も考慮した更なる部活動改革の推進を目指し、その第一歩として、「令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域移行」を進めていく方向性を示しました。具体的には、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に部活動に携わることを希望しない教師は部活動に携わる必要がない環境を構築することや、部活動の指導を希望する教師については兼職兼業の許可を得た上で、引き続き休日に指導を行うことができる環境を構築すること、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備すること等を示しています。（『学校の働き方改革を踏まえた 部活動改革について』から抜粋）～

登下校について

- テレビのニュースでも登下校時の事故が報道されています。交通安全や事故・事件には十分注意していただきたいと思います。
- 通学路の草木が道に出てきているので見通しがいいように整備してほしいです。

▲登下校の安全については、PTA 役員にも協力していただき月2回の交通指導を実施しているほか、学校でもたびたび指導しています。また、本年度は自転車の安全利用についての指導も計画しています。しかし、登下校時における子供の安全確保のため最も有効な方法は、「地域の子供は地域で守る」こととも言われています。今後も皆様のご理解ご協力よろしく申し上げます。▲通学路の整備については、学校敷地外のことが多く、関係機関との調整が必要なこともあります。ご指摘のような箇所がありましたら遠慮なくまず学校にご連絡ください。

学級担任等について

■担任や副担任の「持ち上がり」について〔賛否両論がありました〕

▲中学校3年間で生徒は心身ともにダイナミックに成長していきます。そのため多くの中学校では生徒を熟知し、一人一人の個性に合わせた的確な学習指導・進路指導・生活指導を行うため担任（学年）が持ち上がる人が多いです。このことによって一度できたお互いのイメージにより、心機一転奮起というような機会が生まれにくいというようなデメリットがあることも理解しています。また、人事異動により持ち上げられないこともあります。毎年4月、教員の希望やそれらのことを総合的に判断し、最終的には校長の責任で担任等を引き受けてもらいます。担任等の指導でお気づきのことやアドバイス・質問等がありましたらご連絡くださいますようお願いいたします。

図書室の開放について

■図書室をもう少し自由に使えるようにしてほしい。

▲現在、図書ボランティアさんと図書委員により、基本的には毎週3回昼休みに開放しています。「読書」の重要性は理解しています。しかし、現スタッフでこれ以上開放を増やすことや、図書室には13,000冊以上の蔵書があるため、管理する者がいない状態での開放は難しいと考えます。開放時間を増やすためには、学校に司書を派遣していただいたり、保護者や地域の方の協力により図書ボランティアさんを増員したりすることが考えられます。生徒の要望（希望する時間帯等）も勘案しながら検討します。

生徒の送迎時の駐車場所について

■送迎等により長時間駐車する場合、駐車場所を考えて駐車してほしい。〔再要望〕

▲本校には保護者による自動車での送迎が必要な生徒がいます。この場合、基本的には正門横の駐車場の利用をお願いします。ただし、混雑時ややむを得ず長時間駐車する場合は安全に留意しながら、中庭の空きスペース等をご利用ください。

その他のご意見

■……担任の先生はとてもマメに学級通信を作ってくださいるので、クラスの様子や生徒さんの考え、先生のお考えなどが分かり易いです。……

■冬休みの家庭科の宿題は家庭の事情、今の時代にそぐわないので考え直してほしい。……

■やる気の出る学校生活を経験させていただき、ありがとうございます。広い学校の中で、先生や生徒数が少なくなっていることがとてもさみしく思うときがあり、もっとお友達が増えるといいなといつも願っていました。けれど、みんなの頑張っている姿を見ると、私も元気ややる気をもらい、頑張らせていただいております。

アンケートへのご協力ありがとうございました。本年度もコロナ禍の中ではありましたが、生徒は前向きに勉強や部活動等学校生活を送っています。いただいたご意見を参酌し、夏休み以降の学校改善に役立てたいと考えます。ありがとうございました。